



# ガハテ村通信

NPO法人篠山ナマステ会 事務局 〒669-2221 篠山市西古佐921 振替口座 00930-6-29629

## 特集

### 心の通い合う支援と交流を！ 「心有りて理活かす」



ヤギの生育について話し合うお母さんグループ

篠山ナマステ会は、NPO法人として新しいスタートを切りました。これまでのネパール・ガハテ村を中心とするマハデプスタン地区での活動の成果を踏まえて、今後の支援・交流活動のあり方を探るべく、昨年、11月にネパールで事務局会議を開催し協議を重ねました。

ネパールでは、地震からの復興が今なお、遅々として進んでいません。そのため、SSSと連携して、地震からの復興支援を中心に推進することを確認しました。1点目は、女性グループの山羊増産プロジェクトで家計収入を増やすことです。山羊を繁殖させ、換金することで人々は村に住み続けることができます。また、女性グループのリーダー育成を通じて地域づくりに貢献します。2点目は、教育支援プロジェクトで、マハデプスタン地区の教育力の向上を図ることです。セティディビ小学校の教育充実のため、交流活動や支援活動に取り組みます。高校を希望する生徒に奨学金を支援します。

またSSSがその計画に基づいて比較的自由に支援資金を活用できるよう現地に「篠山ナマステ会基金」を設置します。

さらに、本会のめざす国際交流活動の広がりや充実のため、他地域の学校との連携を模索することとします。

協議した内容をもとにSSSが作成した事業推進計画の一部を2頁以降に掲載します

「ネパール国カブレ郡マハデプスタンVDCに於ける女性のエンパワメントを活用した生計の改善」計画（カブレ郡SSS）

1. 背景

Samaj Sewa Samuha (SSS) は1991年に設立された非営利、非政治的な、地域開発を目指す統合された社会参加型の非政府（NGO）組織である。SSSはネパールの法規と規則に従って、カブレ郡行政事務所に正式に登録され、更新されている。同様に、同年には社会福祉協議会（SWC）に加入している。

SWCはネパール政府によって作られた自治的組織で、地方や国レベルの、あるいはネパールで活動する国際非政府組織（NGOとINGO）によって進められる全てのプログラムと資金を調整することを目的としている。

「篠山ナマステ会」との関係

2001年以来、SSSと篠山ナマステ会はネパール・カブレ郡マハデプスタンVDCにおいて、行政の力が行き届いていないガハテ村の人々のために多くの活動を推進してきた。SSSは、篠山ナマステ会の資金支援でガハテ村にセティディビ小学校を建設し、165名の児童（女子89、男子86）がこの学校の5学年を卒業していった。篠山ナマステ会がSSSとの良き協力関係を持たなかったならば、これらの子どもたちが教育水準を身につけることは困難であったと考えられる。現在、教育事務所はこの学校を国の正式の学校として承認し、教員を派遣している。今、学校は女子児童30名、男子児童29名でもって適切に運営されている。

篠山ナマステ会はSSSを通じてこの学校に補助教員を支援してきた。さらに、多くの女子児童と非常に貧しい男子児童には6、7、8学年に学ぶための奨学金が提供されている。生徒たちは真剣に学んでいる。両親も、子どもたちが学校に通っているのを非常に喜んでい



ジュリガン村の子どもたち

篠山ナマステ会は、ネパールで2015年4月に発生した巨大地震に遭遇して罹災した地域社会の人々に対し、親切にも援助をしてくれた。SSSは緊急用として500家族に TENT を配給した。マハデプスタンの27家族及び隣接するチャンデニVDCでそれぞれ27人と3人の30名がこの地震とその後余震で亡くなった。篠山ナマステ会からの支援金でSSSはこれら27家族のために2組の高品質の波形トタンと仮設住宅（シェルター）を建設するための技術を提供した。

SSSは2016年10月からマハデプスタンで4つの女性貯蓄・融資グループを作った。これらの女性グループは、SSSにとっては計画を立て開発活動を推進するための、実際の手段でありパートナーである。

SSSはこれらの女性グループに46頭のメス山羊と3頭のオス山羊を分配した。これは、受益者（分配を受けた者）は、子山羊が6ヶ月になると他のグループのメンバーに再分配するために、SSSに（分配を受けた山羊を）返す、という了解に基づいている。2016年12月までに、38頭の山羊が子山羊を産み、7頭のメス山羊が戻されて、同様の手順で他のメンバーに再分配された。

2. SSSの任務

組織の主たる任務は、無視され、貧しく、不利な立場にあって、声の届かない地域の人々、とりわけダリットや女性たちが彼らの社会的、経済的、教育的状況を持続可能な方法によって改善するために、共に仕

一貯蓄・融資グループ情報

グループ名	アドレス	事業開始年月	メンバー数	貯金金額
ラリグラン女性グループ	Ward No.6 ガハテ	2016. 3	26	16,986-Rs
ジュンタラ	同上	2015. 11	36	30,440-
マカマリ	同上	2015. 11	31	39,505-
ハリヤリ	Ward No.3 ジタリポカリ	2016. 10	36	46,170-
合計			129	133,101-

4つの女性貯蓄・融資グループの2017年1月までの詳細

事をするのである。

### 3. プロジェクトの期間

SSSは、篠山ナマステ会とSSSとの協力関係が遠隔の地の無視されてきた地域社会の人々のために長年にわたって継続するであろうことを、確信している。

### 4. プログラム実施エリア

SSSはプログラムの実施エリアがだんだんと広がって行くであろうと予想している。現在、このプログラムはネパール国・カブレ郡マハデプスタンVDCで実施される。

### 5. 解決されるべき課題

- (1) プログラム実施エリア（マハデプスタンVDC）は、2015年4月25日の壊滅的な（被害



家屋の再建はなかなか進まない

をもたらした地震及びその後の数百回の余震によって、大きな被害を被った。VDCの全家屋の68%以上が完全に倒壊し、27人が死亡、数百万ルピーの財産を失った。

人々はまだ地震の影響から立ち直れていない。雇用が不足しているために、若者は自分の村に住めない。労働年齢層の大部分（主として男性）は大都市へ転住し、家計収入を稼ぐために海外で労働者として働いている。そして、農業生産と家畜数は減り続けている。

- (2) 家畜の数に限度があり、弱くて健康ではない。なぜなら、この地域には利用できる栄養価のある草がないからである。
- (3) 農家は農業生産に必要なときに良い種を手に入れることができない。このため、農産物は彼らの努力に比べてずっと少ない。
- (4) 家計収入が十分でないために、10学年を卒業した女生徒は勉強をやめてしまう。両親は、より高いレベルの教育を受けさせるため、それらの学校へ子どもを入れることができないのである。

### 6. プログラムの目標

達成されることが期待される目標は以下の通りである。

- 現在の根源的な原因に加えて、彼らの共通する問題を話し合うために新しい女性貯蓄・融資グループを作り、活性化を図る。
- 家畜飼育経営を改善することにより、ミルクと肉の生産を増やして、全体として家計収入を増やす。
- 適切な時期に種子を集め、うまく種子銀行を管理し、手頃なもうけを載せて必要とする農家に分配する。
- 2人の若い既婚女性は、エネルギーシユであり起業家としての資質を持っている。ポカラで学んだ手工芸品製作の技術を身につけて、収入

の改善につながる。○少なくとも、35人の女性メンバーが生産用の家庭育種場を作り、家畜用の15000本の栄養価の高い飼料用木葉を移植する。

- 貧しいグループメンバーの家庭に奨学金を支給する。奨学金は、セティディビ小及びビラダ・クリシュナ小中学校の卒業生で、11・12学年に学ぶ生徒に対し、必要な入学時の費用、制服、文房具等に充てる。

### 7. プログラム推進にかかる考え方

SSSは常にボトムアップの過程に価値があると考えている。SSSは彼女らの中では支援のパートナーとしての役割を演ずる。

通常、グループのメンバーは月1回のミーティングをもって、共通する関心事について話し合い、活動の振り返りをする。また、決められた月々の貯金額を持ち寄り、家計収入を増やす活動やその他の目的で（資金を）必要とするメンバーのために資金を集める。

女性の貯蓄・融資グループの編成は、問題の根本的な原因や現在の問題点を解決するために彼女たちの力量を強化することになる。



種子の保管状況を見るビスタさんとパッサンさん

月	日	2016年度 篠山ナマステ会のあゆみ
4	4	定例幹事会
	12	臨時幹事会
5	2	定例幹事会
	7	<b>篠山ナマステ会総会</b>
	10	臨時幹事会
	12	NPO法人化に向けた準備研修会
	23	NPOの組織基盤強化ワークショップ参加（神戸市）
6	6	定例幹事会
	8	PHD研修生インドネシア・リンダさん受入 主な研修場所：ささやま認定こども園（～17日）
	23	篠山市内退職教職員協議会総会で講話
	26	臨時幹事会
7	5	元PHD研修生ピシヨ氏来篠
	11	定例幹事会
	21	広報紙「ガハテ村通信」第30号配布
8	1	定例幹事会及びNPO法人篠山ナマステ会発起人会
	21	PHDネパール・スリザナさん受入 主な研修場所：丹南健康福祉センター（～31日）
9	5	定例幹事会
	13	臨時幹事会
	15	臨時幹事会
	26	臨時幹事会及び発起人会
10	1	<b>特定非営利活動法人篠山ナマステ会設立総会</b>
	6	認証申請書提出
11	7	定例幹事会
	11	神戸生協の補助金説明会（神戸市）
	16	<b>ネパールでSSSと事務局連絡会議開催（～21日）</b>
12	3	<b>「第14回人権フェスタinささやま」参加</b>
	5	定例幹事会
	10	市民センター登録団体交流会参加
	12	篠山プロバスで卓話
1	9	定例幹事会



月	日	NPO法人篠山ナマステ会として活動
1	20	兵庫県知事より認証書受理
	22	<b>市民センターまつり参加</b>
	25	国際交流事業助成金交付申請書提出
	26	神戸地方法務局へ登記申請書提出
	30	法人指定通知
2	6	定例理事会 設立登記完了届を所管官庁へ提出
	12	NPO大学「まなび塾」を受講
	15	臨時理事会、広報紙「ガハテ村通信」第31号配布
	25	日置老人会総会で講話
3	4	「PHD協会研修生帰国報告会」参加（神戸市）
	6	定例理事会
	28	臨時理事会

